

# 「高校生ものづくりコンテスト2023 東北大会測量部門 5位」



出場した都市システム科3年生に話を聞きました。

安齋 流生さん (安達中卒)	右から2人目
大石 海斗さん (二本松二中卒)	右から3人目
大津加悠麻さん (大玉中卒)	右から1人目
紺野 太佑さん (東和中卒)	右から4人目

インタビュアー 工業クラブ会長 藤井まなか

Q1 暑さとの戦いの中、休日も練習をしている姿を見ました。大会を終えての気持ちは・・・

A1 **結果以上の学びがありました。**

- ・部活を引退し、就職活動に集中することができて良かったです。(安齋)
- ・思う存分に力を発揮できなくて悔しいです。しかし、とても貴重な経験ができて良かったです。(大石)
- ・やりきった気持ちです。昨年の県大会を突破し、東北大会の出場を決めることができうれしく思います。5位という結果以上の学びがありました。(大津加)

Q2 この大会を通して身についた力は何ですか。

A2 **「集中力」・「技術」・「コミュニケーション能力」**

- ・集中力です。  
速く正確に外業<sup>がいぎょう</sup>※1・内業<sup>ないぎょう</sup>※2の練習をしていくうちに集中力が付きました。  
※1 外で測量をすること  
※2 室内でデータの整理や計算を行うこと (安齋)
- ・精度の高い測量技術です。企業に入ってこの技術を生かします。(大石)
- ・コミュニケーション能力です。外業ではお互いの作業を確認しながらミスに気付く必要があるので、コミュニケーションを大事にしました。(大津加)

Q3 希望している進路を教えてください。

A3 **インフラを支える技術者（＝設計・施工計画などを管理する人）になります。**

- ・測量会社に就職したいと考えています。ものづくりコンテストで培った技術を生かし、社会や地域に貢献したいと思います。(安齋)
- ・建設会社に就職したいと考えています。人々が安全で快適な暮らしができるように、ここで培った技術を生かしたいと思います。(大石)
- ・鉄道業に関する仕事に就きたいと考えています。人々の生活の足を支える仕事なので、やりがいを感じています。(大津加)